

希学園 小4 第2回習熟度確認テスト 理科 2025年6月22日実施 模範解答 (制限時間 25分)

1

(1)	図	1	おしべ (ひらがな指定)	図	2	めしべ (ひらがな指定)	(2)	1	オ	3	エ	5	ア	6	イ
-----	---	---	-----------------	---	---	-----------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

(3)	1	(4)	6	(5)	ウ
-----	---	-----	---	-----	---

2

(1)	1	オ	2	ウ	3	ア	4	イ	5	エ	(2)	2	イ	4	ア	(3)	3, 5 (順不同完答)
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	-----------------

(4)	ボウフラ (カタカナ指定)	(5)	3	つ	(6)	X	1	Y	4
-----	------------------	-----	---	---	-----	---	---	---	---

3

(1)	1	フィラメント	4	口金	(2)	1, 4, 6 (順不同完答)	(3)	タングステン (カタカナ指定)
-----	---	--------	---	----	-----	--------------------	-----	--------------------

(4)	ソケット (カタカナ指定)	(5)	①	×	②	○	③	○	④	△
-----	------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

4

(1)	①	ア	②	カ	③	オ	(2)	①	C, E (順不同完答)	②	D, F (順不同完答)	(3)	ウ
-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	-----------------	---	-----------------	-----	---

5

(1)	図	1	(2)	イ	(3)	ロゼット (カタカナ指定)	(4)	イ, エ (順不同完答)	(5)	イ	(6)	帰 化 植物 (漢字2字指定)
-----	---	---	-----	---	-----	------------------	-----	-----------------	-----	---	-----	--------------------

6

(1)	名前	図	なかま	(2)	名前	図	なかま	(3)	名前	図	なかま
	ウメ (カタカナ指定)	ウ	ク		ヒマワリ (カタカナ指定)	ア	キ		ナズナ (カタカナ指定)	イ	ケ

7

A	ウ	B	イ	C	イ	D	ア
---	---	---	---	---	---	---	---

8

(1)	オ	(2)	ア	(3)	ア	(4)	イ, エ, カ (順不同完答)	(5)	ア, イ, エ (順不同完答)	(6)	①	オ	②	ア
-----	---	-----	---	-----	---	-----	--------------------	-----	--------------------	-----	---	---	---	---

(7)	110	mA	(8)	ア
-----	-----	----	-----	---

配点    ① ② ③ ④    : 各2点 × 36 = 72点    (合計) 100点  
          ⑤ ⑥ ⑦ ⑧    : 各1点 × 28 = 28点

- 1(5) サクラ・イロハカエデの葉は赤く色づき、ポプラ・イチョウの葉は黄色く色づく。
- 2 1 アブラゼミ (さす口) 2 ナミアゲハ (すう口) 3 オニヤンマ (かむ口) 4 ハエ (なめる口) 5 アカイエカ (さす口)  
(3) オニヤンマの幼虫 (ヤゴ) と、アカイエカの幼虫 (ボウフラ) とさなぎ (オニボウフラ) は水中です。  
(5) ナミアゲハ・ハエ・アカイエカの3つ。
- 4(3) 真ん中でS極とN極がくっつくと、1本の長いぼう磁石になり、真ん中の磁力は弱くなり、くぎが落ちる。
- 5(2) 花粉は虫が運び、できた種子は風に運ばれる。  
(5) ロゼットは寒く乾そうした冬を過ごすためのすがたなので、葉を地面にくっつけることで乾そうを防いでいる。
- 6(1) ウメ (バラ科) (2) ヒマワリ (キク科) (3) ナズナ (アブラナ科)  
植物の図 ア:ヒマワリ イ:ナズナ ウ:ウメ エ:ハルジオン オ:コスモス カ:ダリア
- 7 A 体温を保つ恒温動物は、ほ乳類 (イヌ) と鳥類 (ハト) があてはまる。カメは爬虫類 (変温動物) である。  
B クモにはしよっ角ではなくしよくしがあり、しよっ角にはない多くの役割がある。  
C シロツメクサは春の草原に白い花を咲かせるマメ科の植物である。  
D トノサマバッタは9月ごろに産卵し、卵のすがたで冬越しをする。
- 8(1) ウ, オ, カの3つはかん電池が直列つなぎなので明るくなるが、カはまめ電球も直列つなぎなのでその分暗くなる。ウ, オはまめ電球が明るくつくが、オはその明るさで2つのまめ電球を同時につけているのでかん電池のじゅ命がもっとも短くなる。  
(2)(3) ア, イ, エの3つはかん電池が並列つなぎなので長持ちするが、アはまめ電球が直列つなぎになっているので、まめ電球に流れる電流が小さくなる。そのため、かん電池のじゅ命がもっとも長くなり、まめ電球はもっとも暗い。  
(4) まめ電球やかん電池を並列につないでも、まめ電球の明るさは変わらない。カの回路はまめ電球もかん電池も2つずつの直列つなぎなので、まめ電球とかん電池が1つずつのときと同じ明るさになる。  
(5) かん電池が並列つなぎになっていれば、片方のかん電池を外してもまめ電球はついたままである。  
(6)① まめ電球が2個並列つなぎ、かん電池が2個直列つなぎなのでオと同じ。  
② まめ電球が2個直列つなぎ、かん電池が2個並列つなぎなのでアと同じ。  
(7) 500mAの端子につないでいるので、読みの最大値 (目もりの右端の5の部分) は500mAになる。目もりは1.1と読めるので、110mAとなる。  
(8) (7)より110mAの電流が流れる回路につないでいるが、一端子を5Aにつなぎかえると、測定できる最大値は5Aになり、110mAの電流を流すと目もりが0.11となるので、針は(7)のときより左にふれる。